

まちづくりへの興味を仕事にする



氏名：松本 綾まつもと あや

入社年：2013年

出身学校：東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻

所属：東京支店 まちづくり・交通グループ

■現在の仕事内容

入社して以来、主に計画分野の業務に携わっており、現在は都市計画マスタープランや立地適正化計画の策定に向けた、都市の現況解析やデータ収集に取り組んでいます。この仕事を始めてから改めて感じるのは「まちづくり」と一言で言っても、対象となる都市の姿（人口規模、歴史、地勢…）は本当に様々で、当然のことながら目指す形もそれぞれ異なるということです。画一的な考え方にならないよう、時には現地を歩き回りながら、どうすればそこで暮らす人たちにとって住み良いまちになるのか、来訪者にとって魅力的なまちになるのか、想像を巡らせる日々です。

■仕事のやりがい・エピソード

私の関わる計画分野の業務は、10年後、20年後の将来を見据えた長期に渡るものも多く、すぐに業務の成果が目に見える形で表れるものばかりではありませんが、打ち合わせや意見交換を重ね、少しずつ計画が具現化していく過程にはとてもやりがいを感じています。特に、自分の提案が採用されたり、担当者から「頑張ってくれてありがとう」と声を掛けてもらえたときは、この仕事をしていてよかったと思える瞬間です。

■この会社に決めた理由

学生時代に所属していた研究室では、様々な都市に足を運びフィールドワークや基礎調査・研究を行っていたため、社会人になってもまちづくりを仕事にしたいと思ったのが、都市計画コンサルタントを志したきっかけです。就職活動では、社員が数人の小規模な会社から大手まで、いろいろな企業の説明会や職場見学に行きましたが、まちづくり専門のコンサルタント会社であること、会社説明会での「若手社員でも主担当としてどんどん仕事ができる」という言葉が印象的だったことから、当社への入社を決めました。

■学生へのメッセージ

私が就職活動をする上で重視したのは、「理想と現実のギャップの小ささ」です。どんな仕事でも、事前に思い描いていた理想とのギャップは少なからずあると思いますが、入社後自分のやりたいことをやらせてもらえるかが会社選びの大きなポイントのひとつでした。興味のあることの延長線上で仕事をするのが理想だったので、現在は就職前とのギャップもなく楽しく働いています。まちづくりに関わる仕事がしたいと考えている人にとっては、自分の理想を実現し日々成長を感じられる職場だと思います。



▲社内の見学会で目黒天空庭園へ